

2023年12月28日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行  
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復している。一方、観光関連は一服、雇用情勢は横ばい、投資関連が弱含み、生産活動が低調、畜産関連が低迷している。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇や電子部品関連の在庫調整の影響が見られる。

生産活動は、9月の鉱工業生産指数が15か月連続で前年を下回った。食料品は前年を上回ったが、窯業・土石製品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、11月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。また豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を下回った。

個人消費関連は、10月の百貨店・スーパー販売額はほぼ前年並み、家電大型専門店販売額は前年を下回ったものの、10月のドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、11月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、11月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、11か月連続で前年を上回り、種子島・屋久島地区は3か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は2か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、10月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.19倍となった。

## 【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の勢いに鈍化が見られ、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。

10月の焼酎生産は、2か月ぶりに前年を上回り、出荷量は2か月ぶりに前年を上回った。

9月のかつお節生産は、12か月連続で前年を上回った。

11月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが3か月連続で前年を上回り、民間工事向けは2か月連続で前年を下回り、全体では1.9%増と2か月ぶりに前年を上回った。

11月の紙パルプ生産は、2か月連続で前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

## 【畜産関連】... 低迷

11月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。11月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が5.3%減と13か月連続で前年を下回り、去勢A3は8.7%減と15か月連続で前年を下回った。10月の枝肉生産量は前年を上回った。

11月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は8.1%減と2か月連続で前年を下回った。10月の枝肉生産量は前年を上回った。

11月のプロイラー相場（東京地区）は、もも肉は6.8%減と3か月連続で前年を下回り、むね肉は3.2%減と46か月ぶりに前年を下回った。11月の処理羽数は前年を上回った。

11月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は3.1%減と15か月ぶりに前年を下回った。10月の配合飼料価格は4か月連続で前年を下回った。

## 【消費関連】... 回復

10月の百貨店・スーパー販売は、衣料品が前年を下回り、飲食料品は前年を上回り、全体ではほぼ前年並みとなった。

10月の専門量販店販売額は、家電大型専門店が前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

11月の乗用車新車登録台数は、11か月連続で前年を上回った。車種別にみると、

普通車は 38.7% 増、小型車が 0.1% 増となった。

11 月の軽自動車届出台数は 4 か月連続で前年を上回った。

### 【観光関連】 ... 一服

11 月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、11 か月連続で前年を上回った。台湾、香港、中国、韓国などからの入り込みや団体客が増加した。

鹿児島地区は、台湾、中国、香港などからの入り込みや団体客が増加し、16 か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州、関西などからの入り込みや個人客が減少し、11 か月ぶりに前年を下回った。

指宿地区は、九州、関東などからの入り込みや個人客が減少し、11 か月ぶりに前年を下回った。

種子島・屋久島地区は 3 か月ぶりに前年を下回り、奄美地区は 2 か月連続で前年を下回った。

11 月の主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を上回った。

### 【投資関連】 ... 弱含み

11 月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

10 月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を下回った。

10 月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも前年を下回り、全体では 3 か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の 3 か月移動平均は前年を下回り、17.9% 減となった。

10 月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、5 か月ぶりに前年を下回った。

### 【貿易関連】 ... 輸出額は前年を上回った一方、輸入額は前年を下回った

10 月の輸出額は、パルプ及び古紙、食料品及び動物が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回り、全体では 23.0% 増と 8 か月ぶりに前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で 25.8% 減と 5 か月連続で前年を下回った。

**【雇用情勢】... 横ばい**

10月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.19倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

**【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った**

10月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.9%上回った。

**【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った**

11月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が7件で前年同月（3件）を上回った。また負債総額は4億1百万円で前年同月（8億27百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）